

知的財産を活用した事業の展開事例

CTスキャナー(医用X線コンピュータ断層装置)

2007年 5月31日

(株)東芝 取締役会長 岡村 正



がん，心疾患，脳血管疾患の診断ワークフロー

健診・予防から、診断・治療において活躍する各種の画像診断装置

健診
予防

診断

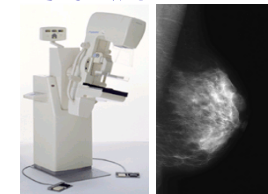
治療

フォロー
アップ

血液検査



X線乳房



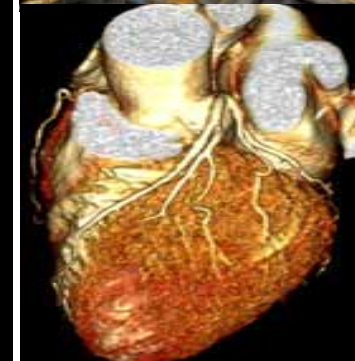
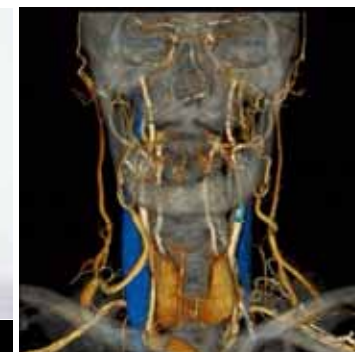
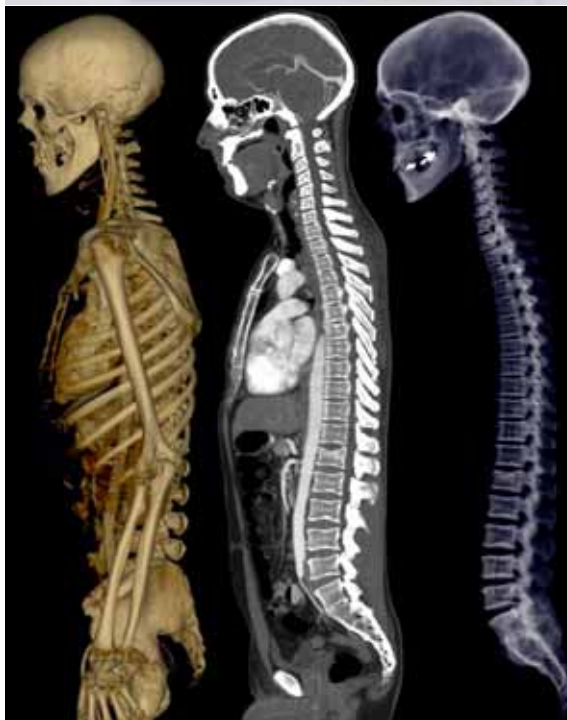
超音波



MRI



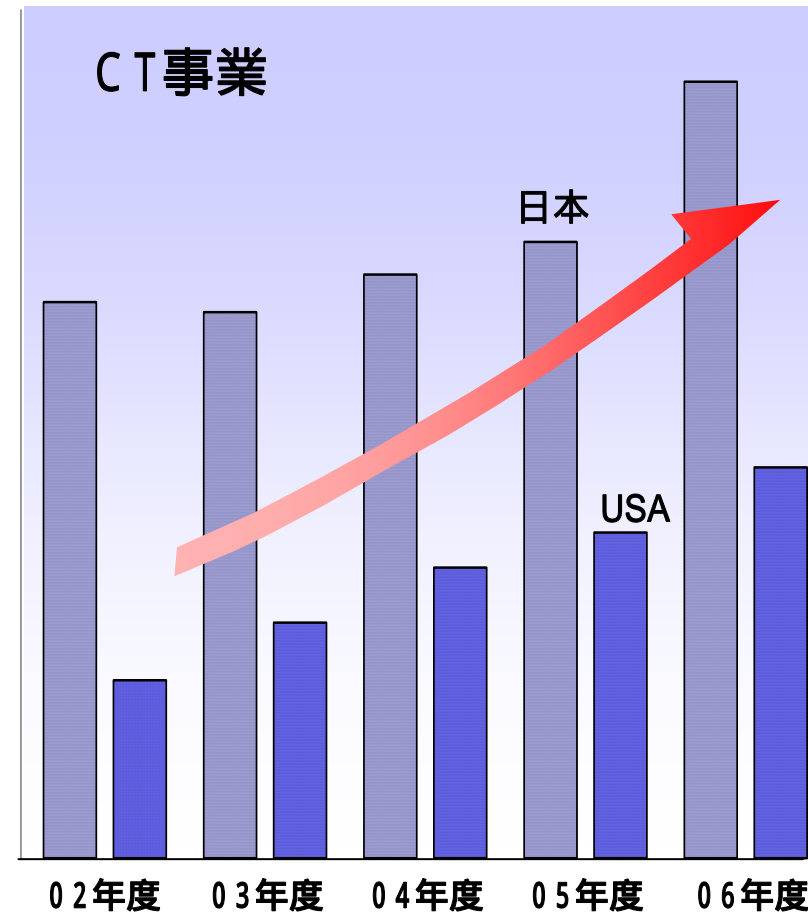
CT



医用システム事業

経営戦略：テクノロジーリーダーシップによりグローバルに成長

Aquilion

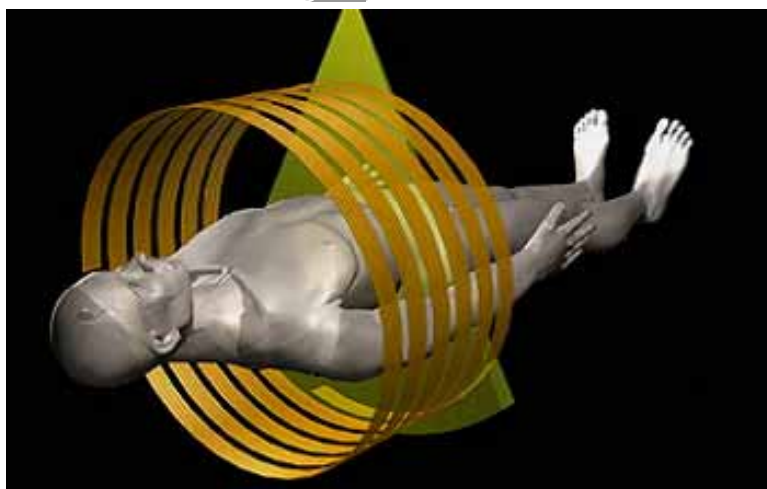


64列マルチスライスCTスキャナー

X線源



ヘリカルスキャン



Aquilion

0.35秒高速スキャン
1断面最小0.5mm厚
64断面同時撮影

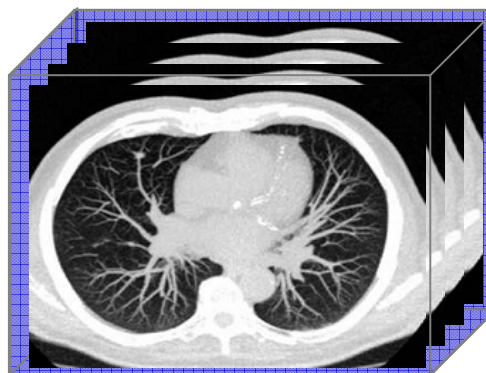
立体観察システム



64列X線検出器

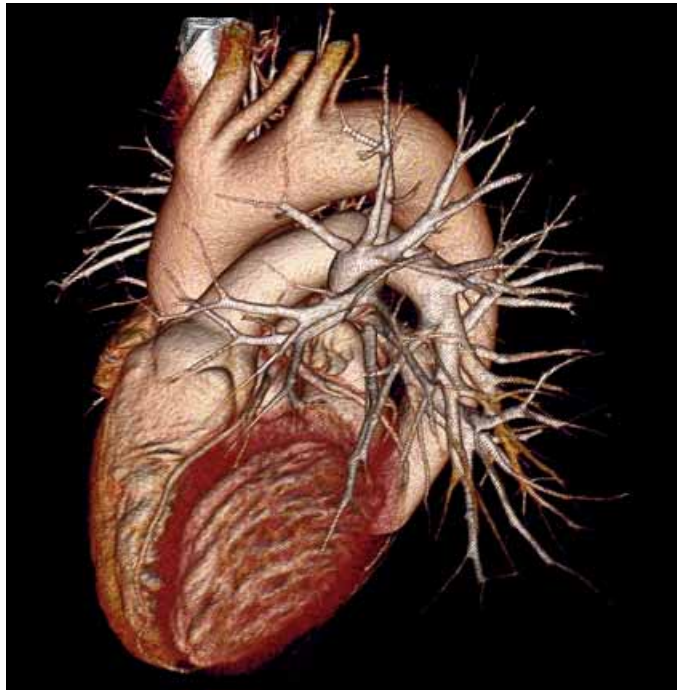
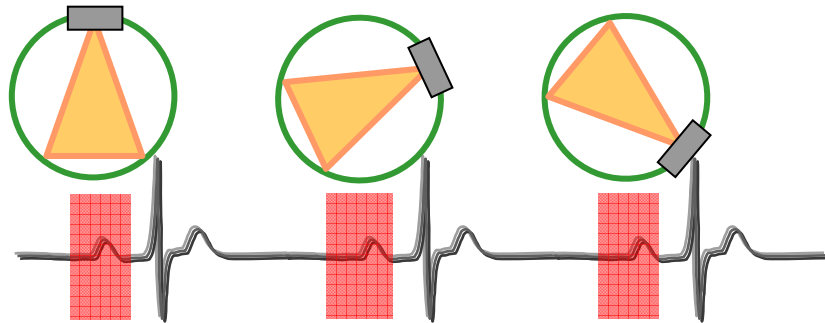


高速・高精細
ヘリカル再構成システム

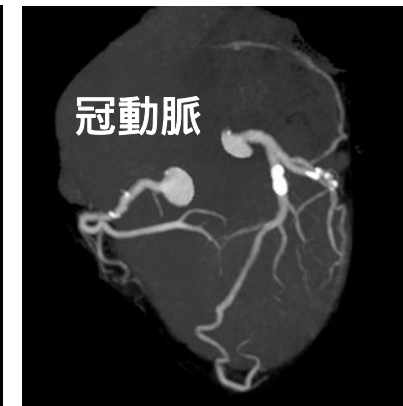
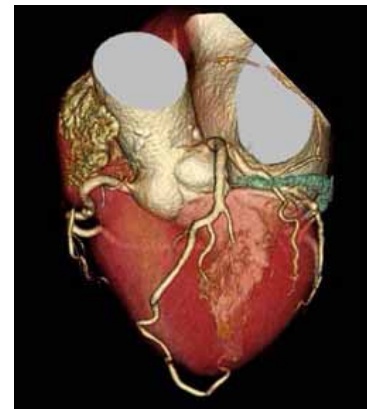
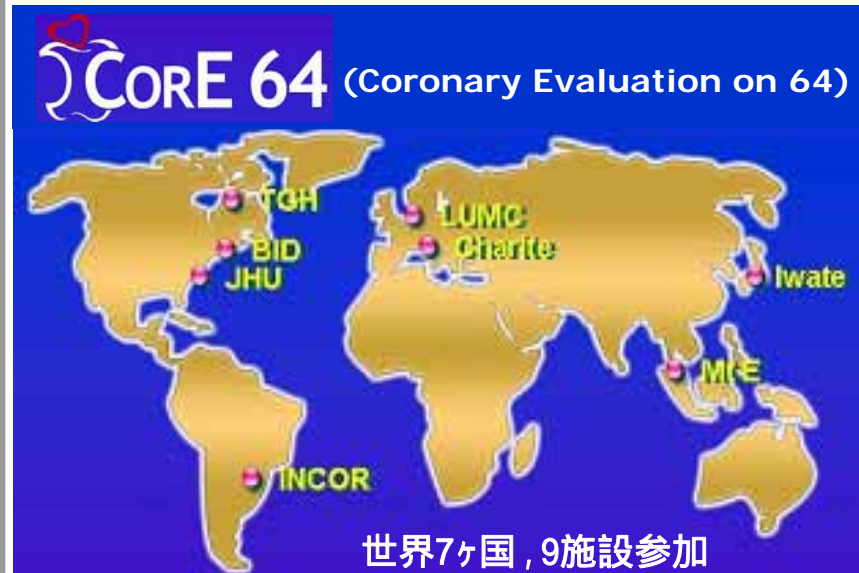


CTスキャナーの心臓への適用

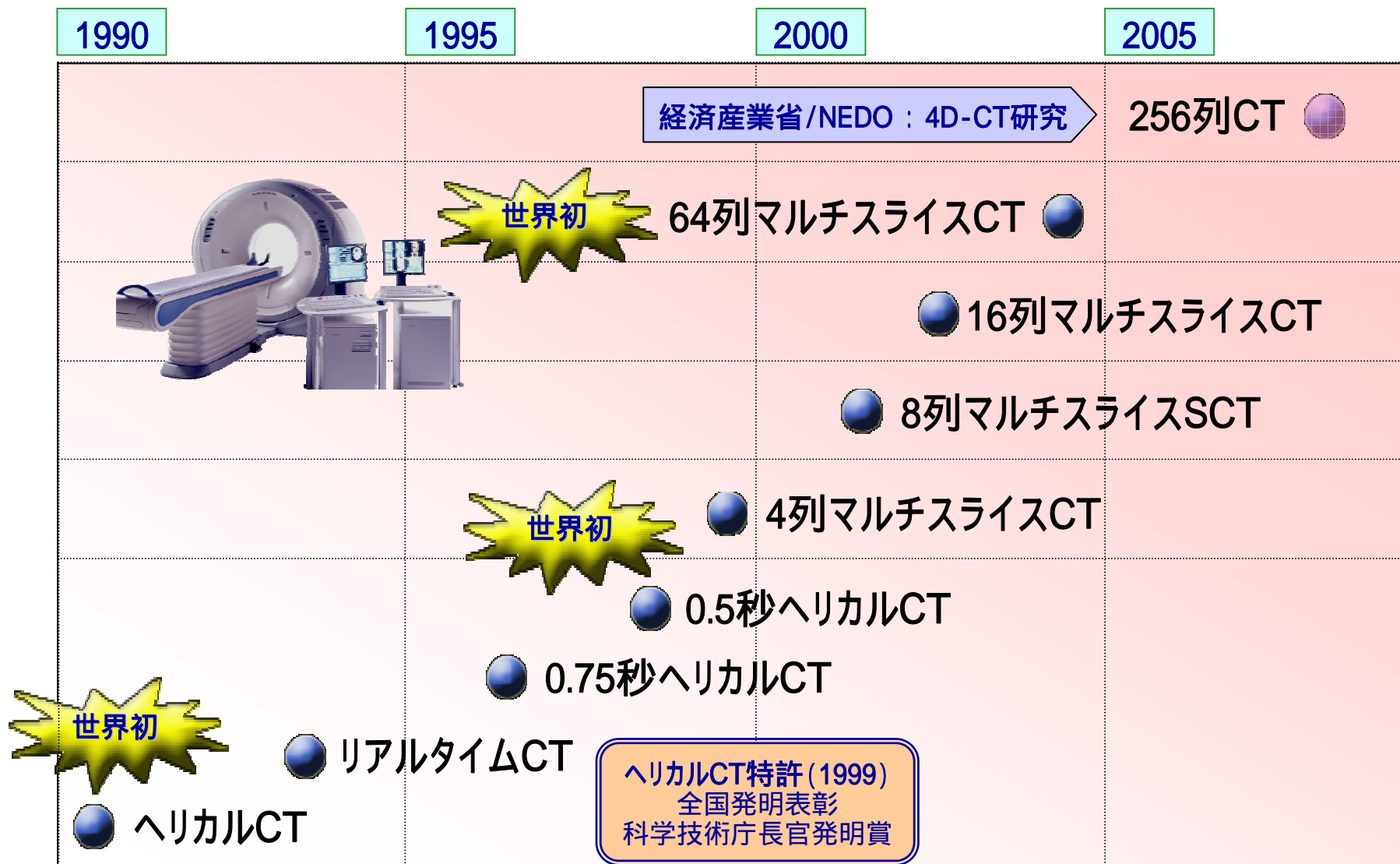
心臓の立体イメージング



国際連携の臨床研究



CTスキャナーの技術革新



256列CTスキャナー

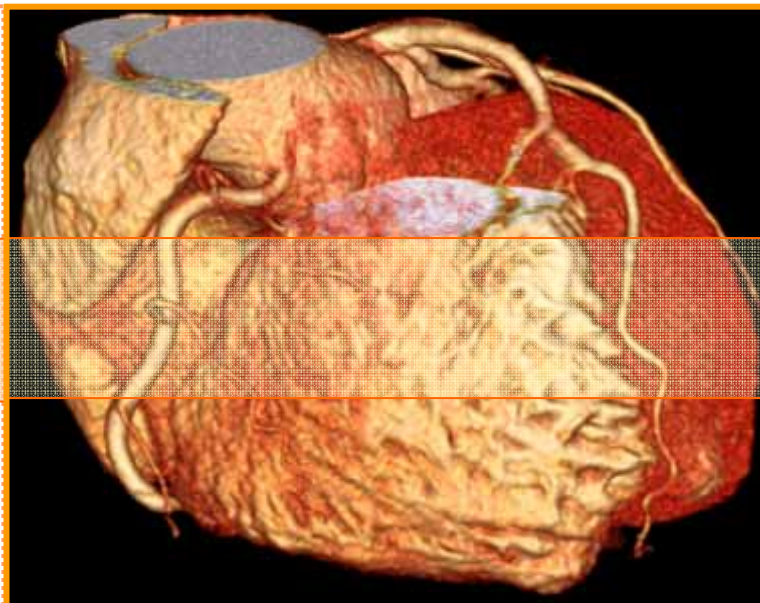
64列CT



3.2cm
(0.5mm厚)



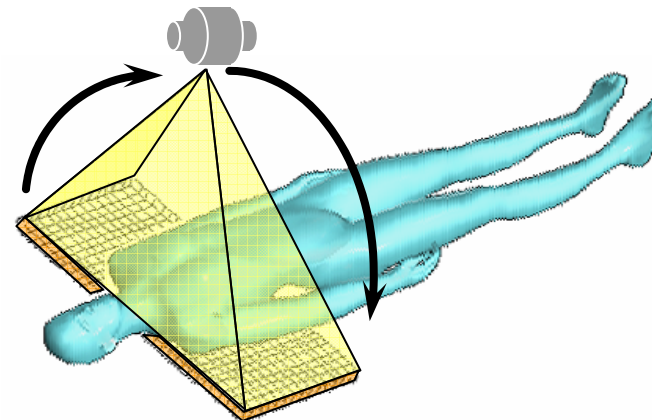
ヘリカルスキャン



256列CT

12.8cm
(0.5mm厚)

一回転で心臓全体を撮影
連続スキャンすると、心臓の
立体動画イメージング



グローバルな持続的成長



- グローバル事業体制の強化
欧米を中心に海外事業拡大
- テクノロジーリーダーシップの発揮
グローバル研究開発の強化
産学連携による知的財産の
先行獲得
- 商品価値の最大化
国際協力による先進技術の
医療応用の促進

